RF/6A

305150

□要

□明

RF/6A□、胎児の脈絡膜および網膜組織から樹立されたアカゲザル（ Macaca mulatta）の網膜脈絡膜内皮細胞株である。 この細胞株□、上皮様形態を呈する付着性単層として増殖する。RF/6A細胞□、第VIII因子（フォン・ヴィレブランド因子）の発現、フィブロネクチン、および電子顕微鏡で検出可能なヴァイベル・パラデ顆粒など、主要な内皮細胞の特徴を保持しており、特に後者□その内皮細胞としての同一性を裏付けている。 この細胞株□、もともと網膜および脈絡膜の血管新生研究のために樹立されたものであり、眼の血管新生研究における霊長類の内皮モデルとして広く採用されている。

RF/6A□、眼の血管新生研究、網膜および脈絡膜の血管新生に関する研究、抗血管新生剤（ VEGF阻害剤、ベバシズマブ、ラニビズマブ）の評価、 加齢黄斑変性（AMD）のモデル化、糖尿病性網膜症の生物学的メカニズムの解明、および眼の微小環境における血管透過性の評価などに適用可能です。 RF/6A□非ヒト霊長類（NHP）由来であるため、げっ歯類の血管内皮モデルよりもヒトの網膜血管生物学に近い特性を有しており、特に霊長類特有のVEGFアイソフォームの反応や眼の薬理学に関する研究において有用です。この系統□、管形成アッセイ、遊走アッセイ、およびVEGF刺激実験で広く使用されています。

ティッシュ	脈絡膜、網膜
病気	正常な網膜脈絡膜内皮（胎児由来；非腫瘍性）
転移部位	該当なし（正常な胎児網膜脈絡膜内皮細胞株）

用途

眼の血管新生に関する研究；網膜および脈絡膜の血管新生；抗 VEGF療法の評価（ベバシズマブ、ラニビズマブ）；加齢黄斑変性（ AMD）および糖尿病性網膜症のモデル化；管形成アッセイ；血管透過性；非ヒト霊長類（ NHP）の網膜内皮細胞モデル

分類

生物	アカゲザル
セックス	未指定
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	非遺伝子組み換え

GMOのステータスに関する詳細

No genetic modification; wildtype rhesus macaque fetal retinal choroidal endothelial cell line

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	内皮細胞
倍増時間	約24~36時間

識別子

引用

RF/6A（Cytionカタログ番号 305150）

NCBI 納税者番号	9544
セロサウルス	CVCL_4552

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

タンパク質の発現

第Ⅷ因子、フィブロネクチン

取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w: 2 mM L-グルタミン、w: 2.2 g/L NaHCO3、w: EBSS（Cytion論文番号820100a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSと1% NEAAを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml、T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml、T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

分割比率	1~5
播種密度	1~2 × 10^4 細胞/cm^2
流体の更新	週2~3回
解凍後の回復	解凍後、細胞を5 × 10^4 細胞/cm^2の密度で播種し、最初の培地交換を行う前に、少なくとも 24時間かけて細胞の付着を待ちます。接触抑制により内皮細胞の表現型が低下する可能性があるため、培養細胞が完全なコンフルエント状態に達しないようにしてください。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	胎児
民族	該当なし（ヒト以外の霊長類の細胞株； Macaca mulatta）

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた□安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB